



「マラソンって楽しい！」笑顔でゴール



自己ベストを目指して力走



「がんばれ〜」選手へ大きな声援が飛ぶ



子どもたちも一生懸命走りました！がんばったね！



暑さも吹き飛ばす涼を求めて。かき氷も大盛況



個性豊かなコスチュームで大会を盛り上げる



選手直撃は小倉格さん（下黒坂）家族



激走の疲れも笑顔に変わる



絶好のコンディションの中、700人が汗流す

第39回中国山地日野鵜の池マラソン大会

新緑の鵜の池湖畔で健脚を競う

緑に囲まれた初夏の湖畔を駆け抜ける、第39回中国山地日野鵜の池マラソン大会（同実行委員会主催）が、6月12日、鵜の池湖畔で開かれ、県内外から昨年を大きく上回る約700人の選手が参加しました。

標高400mの豊かな緑と水に抱かれた湖畔を周回する2.3km、4.6km、6.9kmの3コースで、年齢別にクラスが分かれています。選手たちは、家族や仲間からの応援を受けながら全力で走り抜けていきました。

今年は、ゲストランナーとして、2000年シドニー五輪メダリストの高橋尚子さんが参加。高橋さんは、「笑

顔でがんばるぞ」「おーっ」とかけ声を合わせ出場選手を激励したほか、満面の笑みで選手とハイタッチしたり、一緒に手を取ってゴールしたりと、大会を盛り上げてくれました。

また、会場では、NTTドコモの協力で、携帯電話の移動無線局などが用意され、万全な体制で大会の運営もスムーズに行われました。そのほか、恒例となった地元への応援による野菜たつぷりのみそ汁サービスや、奥日野きのこパーラー、地元産ハチミツを使ったかき氷、手芸品・木工品のバザーなどのコーナーが設けられ、選手やその家族らでにぎわいました。



喜びを分かち合ってゴール！